

会議名	平成 28 年度 第 1 回西尾市子ども読書推進委員会
日 時	平成 28 年 7 月 19 日（火）10：00～11：00
場 所	西尾市役所 22A 会議室
出席者 【敬称略】	委員長 尾崎 隆爾 副委員長 岩瀬 美貴徳 委員 今井 聡子、笠原美保（代理出席）、颯田 義晴、平井 隆文、 近藤 恵子、中村 肇、浅井 典子、杉浦 千代子 事務局 原田 依子、生田 美恵 株式会社図書館総合研究所 木下勝義、飯野佐知子
配布資料	・委員会次第 ・西尾市子ども読書推進委員会設置要綱 ・西尾市子ども読書活動推進計画（第 3 次）策定業務体制図（案） ・西尾市子ども読書活動推進計画（第 3 次）策定業務スケジュール（案） ・平成 28 年度西尾市子ども読書推進委員会委員名簿 ・有識者プロフィール
委員会の中で出されたことは以下のとおり。 1 あいさつ 尾崎委員長あいさつ 2 自己紹介 委員の自己紹介 3 議題 （1）西尾市子ども読書活動推進計画（第 3 次）策定業務について 事務局より策定業務について説明の後、質疑応答。 事務局（説明） ・概要について 西尾市子ども読書活動推進計画（第 2 次）は、平成 24 年 10 月に策定され、平成 29 年 9 月で期間が満了する。第 3 次計画は平成 29 年 10 月～平成 34 年 9 月まで 5 年間を対象期間とし、策定する。 策定にあたっては、西尾市の子どもの読書の状況や読書環境を把握し、現時点の課題を明確にすることで、施策の見直しや新たな施策を打ち出す。第 1 次計画及び第 2 次計画は策定委員会にて策定したが、第 3 次計画は株式会社図書館総合研究所にアンケート調査分析や事務支援など策定業務を委託し、支援を受けながら計画を策定する。 ・体制について 策定に向けて策定委員会を立ち上げ、事務局とともに計画内容を協議、検討する。推進委員会はその上位組織として位置づける。また、今回は有識者として読書指導研究家の蔵元和子氏に、指導・アドバイスを受けることを考えている。蔵元氏は子どもの読書活動に造詣が深く、ブックトークや学校図書館関係の著書も多くある。 策定委員の内訳は、前回は、保育指導担当、学校図書館担当、学校教育子ども読書担当、高等	

学校図書担当、中学校図書担当、小学校図書担当、学校司書代表、市立図書館司書8名であった。今回、現状や課題の把握のため、子ども読書活動施策と関連の深い、子育て支援課、健康課、生涯学習課の担当者にも加わっていただきたいと考えている。なお、前年度末の推進委員会で、策定委員に幼稚園・保育園保護者を加えることを検討するとしたが、今回は、保護者の意見は図書館アンケート等で把握し、計画に反映することとしたい。策定委員について今後御推薦をいただき、第1回の策定委員会を早急に開催したい。策定委員会の開催は月1回ペースで考えている。

・スケジュールについて

全体のスケジュールは、スケジュール案の通り。年内に第3次計画案を策定し、1月下旬に開催予定の第2回推進委員会で確認、2月にパブリックコメントを実施、3月に最終案として完成させる。

・アンケート調査について

アンケートは、第1次計画、第2次計画と同様に9月に実施を予定している。

対象者は前回までと同様に、小学2年生、4年生、6年生、中学2年生およびその保護者である。学校に対しては8月の校長会で説明し、協力をお願いする。

また、今回新たに高校2年生へのアンケートを検討している。前回アンケートから5年が経過しており、前回の小学6年生が高校2年生となっているので、変化の度合いを見て現状を把握したい。

アンケート集計は県の総合教育センターの情報サービスの活用を考えている。

質疑応答

委員長（質問）

体制図（案）の実線と点線の違いは？推進委員会と策定委員会の間が点線となっている。

→事務局（回答）

推進委員の担当課と策定委員の担当課はつながりがあるため点線とした。策定委員会は問題提起、現状の課題を拾い、推進委員会ではまとめたテーマについてご意見いただく場と考えている。

委員（質問）

策定委員会のメンバーは？第1回委員会が8月10日開催予定となっているが間に合うのか。

→事務局（回答）

策定委員会は課の担当者に当たる方に出席いただきたいと考えている。9月にアンケート調査を予定しているため、策定委員会は早急に開催したい。

委員長（質問）

図書館総合研究所の位置づけは？

→図書館総合研究所（回答）

事務局の一部とお考えいただきたい。事務局業務の支援を通じて、本計画の策定に関わるという位置づけである。

委員（質問）

策定委員会について、今回、健康課からも参加すべきか。委員は保健師から選出するのがよい

のか。

→事務局（回答）

ブックスタート事業で連携を取っているので、ブックスタート担当者に参加していただきたいと考えている。また、ブックスタートだけでなく健診の際にパンフレットの配布、説明等もしていただいているので、保健師の方をお願いしたい。

委員（質問）

策定委員会について、今回、生涯学習課からも参加すべきか。

→事務局（回答）

参加していただきたい。西尾市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱では、委員の内訳が学校関係者にやや偏っている状況にある。今回、要綱を変え、生涯学習課、健康課、子育て支援課からも委員を選出していただきたいと考えている。

委員（質問）

スケジュール案の表記について、緑の矢印は図書館総合研究所からの依頼等があると考えてよいか。赤矢印が回答の流れか。

→図書館総合研究所（回答）

その通りである。但し、依頼・回答等のやりとりはすべて、事務局を通じて行う。

委員（質問）

第2次計画期間は平成29年9月までで、第3次計画は平成29年10月からとなるが、スケジュール案では平成29年3月に成果品納品となっている。スケジュールに半年の空白があるが。

→事務局（回答）

平成29年3月末の成果品は、パブリックコメントの結果を踏まえ、修正した段階での最終案である。4月以降に推進委員会を開催し、ご了解いただき、正式な計画としていく段取りである。

委員長（質問）

子ども読書活動推進計画は、0歳から18歳を対象としている。西尾市にも講演に来ていただいた外山滋比古氏によると、生まれる前、母親のお腹にいるときから読み聞かせには効果があるとのこと。就学より更に前の段階、保育園、幼稚園に通う前のお子さんや保護者の意見は吸い上げられるか。

委員（意見）

ブックスタートは生後4か月で実施しているので、そこで意見を伺えるのではないか。

委員長（意見）

ブックスタートは幡豆町で先行して実施しており、合併後に西尾市全体に広まった。いい取り組みは広げていきたい。

委員（意見）

若い保護者から図書館が狭い、子ども館が欲しいとの意見がある。小牧市のえほん図書館では、子育て支援センターや子どもに関する施設が併設されており、子育ての相談なども可能である。西尾市も、子育てを支援し、若い人に選ばれる、若い人が住みたくなるような施策を充実してほしい。

図書館ではスペースの問題だと思うが、いい絵本でも閉架に入っていて、タイトルを知らなけ

ればその本を手にはできない状況となっていることもある。

委員長（意見）

子ども読書活動推進計画はこれまでソフト面での取り組み、提言が中心であったが、ハード面の話、例えば図書館のレイアウト変更や子ども館の新設、図書館の駅前移転といった提言も可能か。

副委員長（意見）

社会全体で子どもを育むという視点が重要であり、そのためには全庁的な施策が必要である。総合教育会議では市長と教育委員会で子ども全体の施策についても検討している。また、総合計画の中での検討もある。子ども館は貴重なアイデアであり、本計画で触れていくことが可能であれば、全体の見通しや拡張性なども考慮し、部局ごとの計画、切り口を踏まえ、なじむものであれば、取り上げてほしいと思う。

委員（質問）

スケジュール案ではパブリックコメントが 2 月上旬から中旬となっているが、4 週間の実施が必要のはずである。スケジュール案の修正が必要と思われる。

※「西尾市パブリックコメント手続きに関する要綱」第 7 条で「実施機関は、政策案を公表した日から 30 日以上期間を設けて政策案についての意見等を受け付けるものとする。」となっている。

→事務局（回答）

ご指摘の通りである。日程を修正し、その後のスケジュールについても調整する。

委員（質問）

第 3 次計画について、議会の文教委員会への報告はどう行うのか。

→事務局（回答）

平成 29 年 4 月に推進委員会を実施し、その後、教育委員会での承認、議会の部会等に報告、ご了解いただく流れを考えている。

委員長（質問）

高校生の図書館来館が少ないという指摘もあるようだが。

→事務局（回答）

第 2 次計画の中でも、中高生の図書館利用の少なさ、小学生と比べての読書量の少なさは見えていた。策定委員会では高校関係者にも入ってもらい意見をいただきたい。アンケートも高校 2 年生を対象に実施するので、高校生の現状も把握し新しい計画に結び付けたいと考えている。

委員長（質問）

第 2 次計画の達成度調査について、一つ一つが大切な取り組みであるが、調査項目が多く細かいようにも思う。市民に理解していただける表現、サマリーのようなものもあるとよいと思うが。

→事務局（回答）

第 3 次計画は第 2 次計画を見直し、より分かりやすく推進しやすい施策とし、表現の仕方も考えていきたい。

委員（意見）

第 1 回策定委員会の日程について。スケジュール案では 8 月 10 日となっているが、小中学校図

書館担当者の中には既に予定が入っている者もあるかもしれない。日程はもう確定か。

→事務局（回答）

アンケート調査時期との兼ね合いもあり、事務局としては最短の日程として 8 月 10 日を希望している。欠席が多くなるようであれば、お盆明けの開催も検討したい。委員の選任と併せ、日程についても調整させてほしい。

委員（質問）

第 3 次計画策定に向けての小学生、中学生、保護者へのアンケートは、全校で実施するのか。

→事務局（回答）

今回は全校で実施した。但し対象学年の全学級ではなく、事務局側で学級数を調整した。今回も、学校規模により実施学級数を調整する。

委員（質問）

就学前児童についてのアンケートは行わないのか。

→事務局（回答）

今回の対象には入っていない。策定委員会で実施を求める声が多ければ検討したい。

委員（質問）

児童生徒に対するアンケート以外に、各学校での取り組み状況に関するアンケートは実施するのか。

→事務局（回答）

達成度の調査、数値の把握は行っているが、個別の状況の把握はしていない。

委員（質問）

各学校での取り組みについて、達成度に関わる部分については、平成 27 年度も実績調査を行うということでよいか。

→事務局（回答）

行う。

（2）その他

事務局（報告）

第 2 回推進委員会は、平成 29 年 1 月頃で計画している。第 2 次計画の達成度（実績値）と、第 3 次計画案についてご報告する。

委員長により平成 28 年度第 1 回子ども読書推進委員会を閉会した。

以上